

第十五條 賣渡取引ノ規則

第一節 此條例ヲ遵奉シタル商會所ノ賣買ハ必ス其約定ニ據テ現物ノ取引ヲ爲スヘシ而シテ其取引ハ之ヲ現場定期ノ二様ニ分テ其期限長クモ三ヶ月ヲ踰ユ可カラス。

第二節 賣買ノ約定已ニ成ルモノハ商會所ニ於テ双方ノ證據金ヲ双預シ其取引ヲ監護確實スヘシ尤モ其證據金ハ少クモ賣買金高十分ノ一ツ、ヲ下ルヘカラス又相場高低ニ依テハ尙追證據金ヲ差入レシメ或ハ數日間休業ノ場合又ハ取引ノ期限ニ迫ル以前證據金ヲ増加セシムル等適宜ノ例格ヲ定メ其差入レ時間ト共ニ之ヲ商會所ニ明掲ス可シ。

第三節 諸證據金ハ豫テ商會所ニ定メタル規程ニ隨ヒ之ヲ差入ルヘキモノトス。

第四節 約定期日ニ至テハ豫テ商會所ニ定メタル時限迄ニ賣方ヨリハ銘柄現米ノ藏所倉庫ノ書付買方ヨリハ代金ヲ差出サシメ而シテ掛リ役員ハ賣買主ト共ニ其在所ニ就キ品位俵數等ヲ點檢シ以テ故障無キハ立會封印ヲ爲シ其藏出シ切手ヲ買方ニ又其代金ヲ賣方ニ渡シ且藏出シ相濟ミタル上ニテ双方ノ證據金ニ決算書ヲ添ヘ之レヲ返付シテ其取引ヲ終ルヘシ。

第五節 約定期限中ニ甲ヨリ乙ニ賣リシ米ヲ乙ヨリ甲ニ買戻シ又ハ甲ノ乙ヨリ買ヒシ米ヲ甲ヨリ丙ニ賣ルコトヲ得ヘシ。

第六節 賣買米授受ノ成規竝ニ違則ノ定例其他藏所代米ノ制限等ハ商會所ノ便宜ニ隨ヒ之ヲ豫定シテ同一ニ確守セシムヘシ。

第十六條 手数料竝ニ口錢ノ規則

第一節 商會所ニ於テ受收スヘキ手数料ハ多クモ賣買金高千分ノ二ニ超ユ可カラス但定期現場相當ノ差等ニヨリ之ヲ制定施行ス可シ。

第二節 仲買口錢ハ其頼人トノ示談ニ任スヘシト雖モ商會所ニ於テ凡ソ其制限ヲ立ルモ亦妨ケナシトスヘシ

第三節 手数料口錢ハ其決算ノ期ニ際シ他ノ債主ニ先ツテ之ヲ受收スルヲ得ヘシ。

第十七條 背則違約處分ノ規則

第一節 商會所ノ規則ニ背キ或ハ違約人ノ過怠等ヲ商會所ニ於テ處分スルニハ重クモ之ヲ除名シ且其株金身元金竝ニ約定證據金ノ内ニ止ルヘシ。

第二節 賣買主ニ於テ違約ヲナシタル處分ノ決算法ハ商會所ニ於テ之ヲ豫定シ其相手方ハ辨償セシムヘシ尤モ此償ハ其違約ノ爲ニ失シタル利益ト損害トニ止ルヘシ。

第十八條 總會集議ノ規則

- 第一節 商會所ハ毎年一度又ハ數度例日ヲ定メテ株主ノ定式集會ヲ開クヘシ但此集會ニ於テハ頭取肝煎ノ撰舉竝ニ商會所營業ノ實況及ヒ計算ノ得失ヲ一同ニ報告スルヲ定務ト爲スヘシ。
- 第二節 株主五名以上ノ請求又ハ肝煎ノ衆議ニ依リテ臨時集會ヲ開クコトヲ得ヘシ。
- 第三節 此條ノ集會ニ於テ株主ハ一株ニ付一説ヲ發スルノ權アルヘシト雖モ之ヲ數フルニハ須ラク一人ノ持株十箇マテハ毎株一説ツ、ト算シ十箇以上百箇マテハ五株毎ニ一説ツ、ヲ増加スヘシ且其商會所ノ役員タル時間ハ發言スルヲ得サルヘシ。
- 第四節 此集會ノ決議法ハ都テ商會所ノ便宜公平ト思考スル處ニ從ツテ之ヲ定ム可シ。
- 第五節 議長ハ頭取其任ニ當ルカ又ハ別ニ株主中ヨリ撰舉スルモノト爲スヘシ。
- 第六節 株主ハ此條ノ集議ニ當リ代人ヲシテ發言セシムルノ理アルヘシ尤モ其代人ハ商會所ニ於テ自ラ其權ヲ有スルモノニ委任ス可シ。

第七節 申合規則ヲ加除改正スル等其他商會所一般ニ關係シ株主ノ集議ヲ以テ決定シタル條件ハ之ヲ明細ニ記シ地方廳ヲ經テ內務卿ニ届ケ出ツヘシ若シ決議ノ日ヨリ往復日數ヲ除キ十五日以内此届出ヲ爲サ、ル時ハ其後ノ怠慢時間一日毎ニ五圓ノ罰金ヲ申付ヘシ。

第十九條 資本金増減ノ規則

- 第一節 商會所ニ於テ其資本金高ヲ増減セント決議シタル時ハ頭取肝煎其次第ヲ詳記シ地方廳ヘ願出又地方官ハ其意見ヲ具シテ之ヲ內務卿ニ上申シ其指揮ヲ受クヘシ。
- 第二節 商會所ハ右増減ノ許可ヲ得テ直ニ創立募金ノ手續ニ隨ヒ之ヲ世上ニ公告シテ増減セシ名前書ヲ取纏メタル上地方廳ヲ經勸業頭ヘ届出テ地方廳又ハ銀行ニ頂ケタル營業保證ノ金額ヲ増減スヘシ。

第二十條 損益金計算ノ規則

第一節 商會所ノ頭取肝煎ハ毎年兩度以上營業ノ總決算ヲ爲シ其內税金其他一切ノ社費ヲ引去

リ尙積立金アルハ之ヲ精算シ残り損益高ヲ以テ株數ニ割リ合セ之ヲ株主ニ分賦スヘシ。

第二節 右計算表ハ株主ヘ分賦ノ日ヨリ十五日以内地方廳ニ差出シテ勸業頭ニ届出又之ヲ新聞紙等ニ載セ一般ニ公告ス可シ。

第二十一條 納税及ヒ積金ノ規則

第一節 商會所ノ税金ハ前半年分ハ七月中後半年分ハ翌一月中之ヲ地方廳へ上納シ地方官ハ一般ノ收税手續ニ依テ大藏省へ送達スヘシ。

第二節 商會所計算ニ於テ株主等へ配當スヘキ純益金一ケ年一割<sup>百分</sup>以上ノ利息ニ當ル時ハ肝煎ノ衆議ヲ以テ割賦高ノ内何分カヲ引去リ之ヲ積立テ非常ノ準備金ト爲ス可シ。

第二十二條 報告ノ規則

第一節 商會所ノ頭取支配人ハ地方廳ヲ經テ左ノ報告ヲ勸業頭ニ出テ可シ。

第一 商會所一ケ月實際報告

是ハ每一ケ月賣買約定ニ係リタル金穀ノ合高ヲ掲ケ内現場定期ノ取引ヲ區分シ之ニ平均相場ヲ附シテ翌月十五日限り之ヲ差出ス可シ。

第二 同上一ケ年報告

是ハ毎月報告ノ例ニ倣ヒ一ケ年分ヲ合セテ之ヲ詳記シ翌年三月一日迄ニ差出スヘシ。

第三 總計表報告

是ハ一ケ年營業ニ係リタル金員出納高ヲ掲ケ内株金竝ニ手数料等ノ總收入ヨリ税金及ヒ配當金其他社費一切ノ遣拂又ハ積立金ノ有無等ヲ明載シ之ヲ翌年三月一日迄ニ差出スヘシ。

第四 株主社員姓名表報告

是ハ姓名族籍住所株數或ハ身元金高等ヲ記シ定式撰任集會ノ日ヨリ三十日ヲ限り之ヲ差出スヘシ。

第五 役員上任報告

是ハ頭取副頭取肝煎支配人新任ノ都度其印鑑ヲ添ヘ十五日以内之ヲ差出スヘシ。

第二節 右諸報告ニ依テ定メタル所ノ期限ヲ怠ルトキハ其怠慢ノ時間一日毎ニ金五圓ノ罰金ヲ申付クヘシ。

第二十三條 官員検査ノ規則

第一節 商會所營業検査ノ爲メ時トシテ勸業寮又ハ地方廳ヨリ官員ヲ派出スルコトアルヘシ

第二節 右検査ノ官員ハ商會所ノ役員ニ命シ勘定帳簿其他凡百ノ書類物品ヲ差出サシメ又其疑件ニ付テ之ヲ推糺スル等ノ權アルヘシ是等ノ場合ニ於テ若シ猶豫抗拒等ノ舉動有ルキハ五十圓以下ノ罰税ヲ其本人ニ申付ヘシ

第二十四條 記録保存ノ規則

第一節 商會所ノ創立證書竝ニ申合規則及ヒ肝煎撰舉社中集會其他ニ就テノ報告議件等凡ソ其商會所ニ關係ノ書類ハ一切之ヲ記録ニ綴屬シ頭取肝煎之ニ記名調印シ以テ後日ノ證據參觀ノ爲メニ藏メ置クヘシ

第二十五條 條例改正ノ規則

第一節 日本政府ハ此條例ヲ便宜改正シ或ハ廢止スルコトアルヘシ  
右之通制定候事

第一號 創立證書ノ雛形

米商會所創立證書

明治一十年一月大日本政府ニ於テ第一號公布條例ノ旨趣ヲ遵奉シ米商會所ヲ創立シテ其商業ヲ營經セント謀リ此證書第五條ニ連名シタル者協議シテ左ノ創立證書ヲ取極メ候也

第一條

商會所ノ總員ハ條例ノ旨趣ヲ遵奉シ併セテ申合規則ヲ確守スヘシ

第二條

此商會所ノ名號ハ何々國名郡名又ハ所在ノ地名等米商會所ト稱スヘシ

米穀相場會社關係書類

第三條

商會所營業ノ年限ハ開店ノ日ヨリ滿一箇年タル可シ

第四條

此商會所ハ一府一縣第一大区一小區一町一港一番地ニ取建ツ可シ

第五條

此商會所ノ資本金ハ一萬圓ニシテ一百株トナシ其内發起人ニテ所持スヘキ株數竝ニ其屬籍住所姓名等左ノ如シ

株數	屬籍	住所	姓名
此金一萬圓	府 縣華士族平民	府 縣第一大区一小區一町一番地 <small>居住 寄留</small>	某
合株數 此金一萬圓			總計幾人

第六條

此商會所ノ株主及ヒ社員ハ内國人ニ限ル可シ此證書ハ株主一同ノ利益ヲ謀ル爲メ取極タル證據トシテ各姓名ヲ自記調印シ追テ入社候モノハ順次連署セシメ可申候也

年號月日

株主等連名印

內務省
記錄印

第二號 申合規則ノ雛形

何々米商會所申合規則

此米商會所ハ明治一一年一月第一號公布條例ノ旨趣ヲ遵奉シ賣買上尙緊要ノ條件ニ於テ總員確守ス可キ申合規則ヲ議定シタルモノ左ノ如シ

第一條

建米竝ニ建石ノ事

第二條

米穀相場會社關係書類

取引定期ノ事

第三條

賣買米帳入日限時間ノ事

第四條

諸證據金ノ定額及ヒ差入シ時限ノ事

第五條

證據金預リ方ノ事

第六條

約定期限内ニ於テ買戻シヲ爲シ又ハ甲ノ乙ヨリ買ヒシ米ヲ甲ヨリ丙ニ賣渡ス等順序ノ事

第七條

受渡米検査竝ニ升廻シ方法ノ事

第八條

代米及ヒ藏所制限ノ事

第九條

不足米金又ハ悪性等處分方ノ事

第十條

銘柄違藏所違等其他過怠法ノ事

第十一條

手数料竝ニ口錢定額ノ事

第十二條

營業時間及ヒ休業日等ノ事

第十三條

定式總會竝ニ肝煎小集例日ノ事

第十四條

計算期月ノ事

第十五條

社員撰任期日ノ事

第十六條

社員身元金定額ノ事

第十七條

此申合規則ニ於テ實際上若シ不都合有之節ハ肝煎ノ衆議ヲ以テ之ヲ補除改正シ其都度官ノ許可ヲ得テ施行スヘキ事

右取極タル申合規則ハ商會所營業上何レモ確守スヘキ證據トシテ株主竝ニ社員一同記名調印スヘキモノナリ

年號月日

株主姓名調印

社員姓名調印

內務省  
記録印

右雛形ニ示シタル條々及ヒ商會所ニ於テ緊要ナリトスル條件ハ宜シク之ヲ議定掲載スヘシ

### 第三號 開業免狀ノ雛形

開業免狀

何々米商會所

右差出シタル創立證書ニ據リ此商會所ハ明治一年一月日本政府第一號公布米商會所條例ヲ遵奉履行ス可キコト分明ナルニ付今此開業免狀ヲ交付シ自今其業ヲ營ムコトヲ許可スルモノ也  
右ノ證據トシテ余ハ內務卿ノ命ヲ奉シ爰ニ姓名ヲ自記シ官印ヲ鈐スルナリ

年號月日

勸業頭名印

官印

### 第四號 實際報告ノ雛形

明治一年月中實際報告

何々米商會所

一	日	現取引米 十萬千石	平壹石代 十圓十錢	本月限 〇〇〇〇〇	平壹石代 〇〇〇〇〇	二ヶ月限 〇〇〇〇〇	平壹石代 〇〇〇〇〇	三ヶ月限 〇〇〇〇〇	平壹石代 〇〇〇〇〇	總計米 百十萬千石
二	日	.....	.....	無シ	.....	.....	.....	.....	.....	.....
三	日	休業	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

四日  
五日  
以下末日ニ至ル  
合計

百十萬千百十石	ナシ	ナシ
〇〇〇〇〇〇〇〇	ナシ	無シ
ナシ	ナシ	ナシ
ナシ	ナシ	ナシ
ナシ	ナシ	ナシ
ナシ	ナシ	ナシ
ナシ	ナシ	ナシ
千百十萬千百十石	ナシ	ナシ
〇〇〇〇〇〇〇〇	ナシ	ナシ

右違算無之候事

年號月日

頭取姓名印  
検査掛姓名印  
支配人姓名印

第五號 計算表雛形

明治一年前  
後半季計算表

何々米商會所

手 入 額	手 料 若	利 息 金	過 怠 金	沒 收 金	物 品 賣 拂 代	株 備 金 ヨリ 繰 替 高	何 々	總 計
干	干	干	干	干	干	干	干	干
出 額	稅 金 若	役 員 俸 給	不 時 賞 與	社 費	建 築 修 繕 或 ハ 地 料	繰 替 金 拂 入 高	何 々	何 々
干	干	干	干	干	干	干	干	干

差引

純益金若干

内譯

金若干 株主へ配當スヘキ分 但一株ニ付  
金若干 積立準備へ組入ルヘキ分 金何圓何錢

別途計算



資本株金若干

金 若干 現金若干  
公債證書

地方廳或ハ銀行へ預高

積立準備金若干

金 若干 現金若干  
公債證書

銀行其他へ預高

金 〃

建築費其他繰替高

金 〃

公債證書或ハ不動産

金 〃

櫃中現在高

金 〃

櫃中現在高

身元金若干

金 若干

公債證書

商會所々有物

所 若

干

坪

金 〃

現 公債證書

地 所

〃

〃

〃

右之通違算無之候事

年號月日

頭取姓名印

檢査掛 〃

出納掛 〃

第六號 役員上任報告ノ雛形

何々米商會所役員印鑑御届

年號一年一月何ノ誰儀ハ當商會所ノ

頭取副頭取肝  
煎又ハ支配人

ニ撰ハレ其印鑑ハ別紙之通ニ候也

何々米商會所

年號一月日

頭取姓名印

勸業頭名宛

右二通但一通ハ地方長官名宛之事

(別紙)

用紙厚紙堅五寸幅一寸五分

印

鑑

印

何々米商會所

何役何ノ誰

發ノ勸千百四十壹

兼テ内務卿ヨリ上陳有之居候米商會所條例御發布ノ儀ニ付先般尙又再申ニモ相成候通此際五六日間モ遅延候様ニテハ無餘儀從前營業ノ取纏方ニ於テ今又延期致シ候ハテ不叶場合ニモ立至リ可申ニ付一日モ疾ニ御發令有之候様致度此段及御掛合候也

明治九年一月

内務正權大丞

史官

御中

第十九號伺

廿年卅年後勘定書

年次	公益高ヨリ負擔ヲ消却ス	募資ヲ返濟ス	其利足	銀行負債消却ス	其利足
二次	百七十萬圓	二十五萬圓	六十萬圓	二十五萬圓	六十萬圓
初年	百七十萬圓	二十五萬圓	五十八萬五千圓	二十五萬圓	五十七萬圓
二年	百七十萬圓	二十五萬圓	五十七萬圓	二十五萬圓	五十四萬圓
三年	百七十萬圓	二十五萬圓	五十五萬五千圓	五十萬圓	五十一萬圓
四年	百七十萬圓	二十五萬圓	五十四萬圓	五十萬圓	四十五萬圓
五年	百七十萬圓	二十五萬圓	五十二萬五千圓	五十萬圓	三十九萬圓
六年	百七十萬圓	二十五萬圓	五十一萬圓	七十五萬圓	三十三萬圓
七年	百七十萬圓	二十五萬圓	四十九萬五千圓	七十五萬圓	二十四萬圓
八年	百七十萬圓	二十五萬圓	四十八萬圓	七十五萬圓	十五萬圓
九年	百七十萬圓	二十五萬圓	四十六萬五千圓	五十萬圓	六萬圓
十年	百七十萬圓	二十五萬圓			

米穀相場會社關係書類

計 一千七百萬圓—二百五十萬圓—五百三十二萬五千圓—

五百萬圓—三百八十四萬圓

總計

出 一千六百六十六萬五千圓

納 一千七百萬圓

差引

三十三萬五千圓

餘殘

三 次  
初 年  
二 年

公 益 高

募資ヲ返濟ス

其 利 足

百七十萬圓

七十五萬圓

四十五萬圓

百七十萬圓

七十五萬圓

四十萬五千圓

三 年  
四 年  
五 年  
六 年  
七 年  
八 年  
九 年  
十 年  
計

百七十萬圓

七十五萬圓

三十六萬圓

百七十萬圓

七十五萬圓

三十一萬五千圓

百七十萬圓

七十五萬圓

二十七萬圓

百七十萬圓

七十五萬圓

二十二萬五千圓

百七十萬圓

七十五萬圓

十八萬圓

百七十萬圓

七十五萬圓

十三萬五千圓

百七十萬圓

七十五萬圓

九萬圓

百七十萬圓

七十五萬圓

四萬五千圓

一千七百萬圓

七百五十萬圓

二百四十七萬五千圓

出 九百九十七萬五千圓

納 一千七百萬圓

總計

差引

八百〇二萬五千圓

餘殘

# 來明治七年中償還外國債調書

海關公債年九米之利附

一、英貨四萬五百封度

一、同貳百貳封度拾シルリング

〆四萬七百貳封度拾シルリング

但 是ハ七年二月一日分既ニ當十一月十七日橫濱東洋銀行へ相拂候事

一、同拾萬封度

一、同四萬〇五百封度

一、同七百貳封度拾シルリング

一、同三萬六千封度

一、同百八拾五封度

〆拾七萬七千三百八拾七封度拾シルリング

七年二月一日可相拂利子

同年同月日ニシロイダル會社へ可相拂口錢 但拂高千分ノ五

拂濟之分

七年八月一日可相拂元金

七年八月一日可相拂利子

右元利拂方ニ付シロイダル會社へ可相拂口錢 但拂方千分ノ五

明治八年二月一日可相拂利子

但來七年十一月十五日頃迄橫濱東洋銀行へ可相渡分

右利子拂方ニ付シロイダル會社へ可相拂口錢 但前同斷

新公債貳百四拾萬封度年七朱之利附

一、英貨八萬四千封度

〆是者龍敦東洋銀行へ相拂置候分

一、同八萬四千封度

一、同八萬四千封度

〆拾六萬八千封度

六年相拂候分

計拾貳萬四千七百貳封度拾シルリング

七年可相拂分

計三拾四萬五千三百八拾七封度拾シルリング

外ニ

一、墨銀百五拾萬弗

下之關償金

總計

英貨三拾四萬五千三百八拾七封度拾シルリング  
墨銀百五拾萬弗

來明治七年中償還外國債調書

昭和七年一月一日可相拂利子

同年七月一日可相拂利子

明治八年一月一日可相拂利子

但來七年十月十五日頃迄ニ橫濱東洋銀行へ可相渡分

但拂濟之總額

明治六年十一月

國際寮外債懸

英貨一封度ヲ金四圓八十八錢ノ割ニテ算スレハ英貨三十四萬五千三百八十七封  
 度半ノ代 金百六十八萬五千四百九十一圓  
 又 五十四ペンスニ付墨銀一弗替墨銀一弗ニ付金一圓三錢替ニテ算スレハ  
 金百五十八萬千七百二十一錢餘

秘書類纂

財政資料

下卷 終

秘書類纂 財政資料 下卷

人名索引

(イ、キ)  
 伊藤 博文 二六、三五、六五、三四八、三五七、三五五、  
 井上 毅 三七六、三九一、四〇五、五七〇、  
 井上 馨 五九、  
 三九二、  
 (ハ)  
 茂佩斯篤兒 五三、五二七、五三〇、五三一、五三三、五三六、  
 貌 奄 五三、五四四、  
 (ホ)  
 堀 金太郎 三九五、  
 忽蔑兒士 五三五、  
 (オ、ヲ)

大山 巖 一〇一、一〇六、一一四、一〇五  
 沖 守 固 三七六、  
 大隈 重信 五七〇、  
 大久保利通 五七三、  
 (ワ)  
 渡邊 國武 三五五、三九二、三九八、四〇五、  
 若山 儀一 五二三、  
 (カ)  
 川村 純義 九〇、一〇〇、  
 川田 小一郎 三九四、三九七、三九八、  
 (ナ)  
 中野 健明 二五九、三七六、  
 中村 元雄 三七五、  
 鍋島 幹 三七六、  
 (ウ)  
 内海 忠勝 三、三三、  
 維廉比的 五三四、  
 (ヤ)

索引

山縣有朋 一、二五、八六、二五〇、二五三、  
山田信道 三七六、  
彌兒 五三一、五三五、五四四、

(マ)

松方正義 二六、六五、一三三、二四八、二五〇、二五三、  
松平正直 二七、二五九、三九四、三九七、  
三六六、

(フ)

藤江章夫 五、

(コ)

小松英太郎 三七五、

(テ)

大關洵兒 五三五、五三六、

(ア)

荒川邦藏 三五、  
亞當私密斯 五二一、五二七、五三三、五三五、五三九、  
五四五、五五〇、五五八、五六一、

(サ)

三條實美 三五、八六、九〇、一〇〇、一〇一、一〇六、  
須亞比多 二四、一三三、五七三、  
五三九、

(キ)

北垣國道 二六、  
木梨精一郎 二五二、

(シ)

篠崎五郎 五三、五五、

(ヒ)

東島 五四、  
兵頭正懿 三七五、

(モ)

森岡昌純 五二、五三、五五、

索引終

昭和十一年二月八日印刷  
昭和十一年二月十三日發行

(非賣品)



卷下・料資政財

製複許不

校訂者

平塚篤

發行者

平塚篤

印刷者

君島潔

東京市麴町區内幸町大阪ビル内

祕書類纂刊行會

電話銀座(57)五五八九番  
振替東京三一六六四番

724





